



スペシャルオリンピックス日本・山口 下関支部、菊川支部

スポーツを通して、知的障害のある人たちの社会参加を応援している国際的なスポーツ組織スペシャルオリンピックス。さまざまな人が共に活動に携わる中で、たくさんの可能性が広がっています。

受賞者	種目名(メダルの種類)
木村拓馬	競泳 男子100m個人メドレー(銅) 4×25mメドレーリレー(金)
吉井彩乃	競泳 女子25m自由形(銅)
新名弘行	競泳 男子25m自由形(銅) 4×25mメドレーリレー(金)
平田純一	競泳 男子100m自由形(金)
市場和希	陸上競技 男子100m走(銅)
田村美沙希	陸上競技 女子1500m走(銀)
土橋 龍	陸上競技 男子1500m走(入賞リボン)
清部 光	バドミントン・個人技能競技(金)
藤村柀人	フライングディスク アキュラシー競技(金)、ディスタンス競技(銀)
伊藤有希	フライングディスク アキュラシー競技(金)、ディスタンス競技(金)

▲スペシャルオリンピックス2022広島の結果

Be with all[®]
多様な人々が生きる社会へ

関わる人がすべて参加者

「走るのが好きなので、楽しかったです」「楽しんでやろう」と思っていたら良い記録を出すことができました」「途中から調子を自分で立て直すことができましたので記録が伸びました」「みんなの応援が底力になりました」「昨年行われたスペシャルオリンピックス2022広島で、下関から10人のアスリートが出場し、メダルを獲得しました。

みんな個性があり、それぞれ障害の度合いも違います。一人一人に合わせて、コーチ

が指導をしていきます。最初は泳げず、プールの周りを走り回っていたアスリートも、練習を繰り返すことで、100メートル泳げるようになり、メダルを取ることができました。スペシャルオリンピックス(SO)では、重度の知的障害があり、決められたコースを走るのが難しい人も、好きな所を走ることが出来ます。歩くだけの競技もあり、組み分けしているのが全員が表彰台に立つチャンスがあります。

そしてアスリートとその家族、コーチなどのボランティア、すべての人が参加者として、活動を支える人として、感動を分かち合う人として、活動に携わっていきます。

アットホームな温かさ

SO理事の角田佳介さんはコーチをしています。お子さんもSOのアスリートです。SOの魅力を伺いました。

「障害者の親は、子どもがどうなるのか先が見えない不安を抱えています。その不安を受け入れるのがSO。アットホームな雰囲気です。温かさがあ



Linked Instagram インスタグラム

市報×インスタグラム連動企画
フォロワーの皆さんが投稿した下関
の魅力が伝わる写真をご紹介します♡



♡ Q ▼ @takuya_2501_さん



♡ Q ▼ @wanda_maruさん



♡ Q ▼ @mielen_sirpaleさん

AEROBIC FIGHT TEAM WHITE ARROWS



◀フライングディスクは、プラスチック製の円盤(ディスク)を投げる競技です。簡単で、いろんな障害のある人が一緒にプレーできます。飛距離を競う「ディスタンス」、正確さを競う「アキュラシー」の2つの種目があります。

▶バドミントンには、シングルスやダブルスのほか、試合に参加することが困難なアスリートが行うSO独自の「個人技能競技」もあります。個人技能競技は、限られた時間の中で、ラケットにシャトルが当たった回数を得点として競う「UPS」などの6種目があります。



◀アスリートが練習をイメージしやすいように、事前に行うことを書き出してプログラムを作っておきます。陸上では、走ることはもちろん、練習の最後に家でも実践できる筋力トレーニングの方法を学びます。

▶水泳のコーチ北村京子さん(写真上)。[少しずつ、時間をかけてそれぞれのアスリートにあった形を考えながら指導をしています。体を動かすということ、楽しんでほしいです。大会では、記録を更新して喜んでる子を見て、感動しました]



地域とのつながり

今、アスリートは新たな挑戦をしています。24年のスペシャルオリンピッククス日本冬季ナショナルゲームへ、下関から初めて出場する予定です。種目はフロアボールと、スノーシューイング。
下関では雪がほとんど降り

りません。そして、安心して活動する場所があるというのは親としてもうれしいことです。また、練習をしたり、メダルをもらったりという良い経験は記憶に残ります。その経験があることで、学校を卒業しても日々の生活がうまくいくと思っています」

Editor's note

編集後記

■年末年始に私がコロナ感染…。市報の納期はあれども何もできない。そんな時に頼れるチームと家族！感謝感激の新年早々♪西村
■「すくも」を雪の代用にする発想に感心しました。同僚に「すくも」が通じず、衝撃です。皆さん「すくも」ご存じですか？廣野
■目の前で自分好みの酒をブレンドする参加者たち、心底うらやましかったです。漂ってくる香りを頼りに、必死に味を想像しました。宮村

「私たちは地域や企業の皆さんによくしてもらっています。その感謝の気持ちで、ごみを拾うなど、ちょっとしたことであります。私たちが地域のためにできることをしています。その積み重ねが、地域や下関の活性化につながればと思っています」

ないため、スノーシューイングは砂浜で練習します。菊川では、すくも(もみ殻)を雪に見立てて地域の方が作ってくれたコースで練習しています。「おそらく全国でも、すくものコースで、スノーシューイングを練習しているのは下関だけではないかと思っています」と角田理事は笑います。